

議会報告会・意見聴取会の結果報告

10月11日から18日まで五日間開催しました「議会報告会・意見聴取会 ～みなさんと車座で語ろう会～」にご参加いただきありがとうございました。今年度の報告会は、地域を細かく回ろうと、9箇所で10回開催いたしました。その結果91名の皆さんにご参加いただき、それぞれの地域で抱える課題について、みなさんのご意見をお聞きするとともに、「議会、議員はしっかりせよ」とのご意見もいただきました。ご意見を真摯に受け止め、今後の議会活動及び議員活動に活かしてまいりたいと思います。

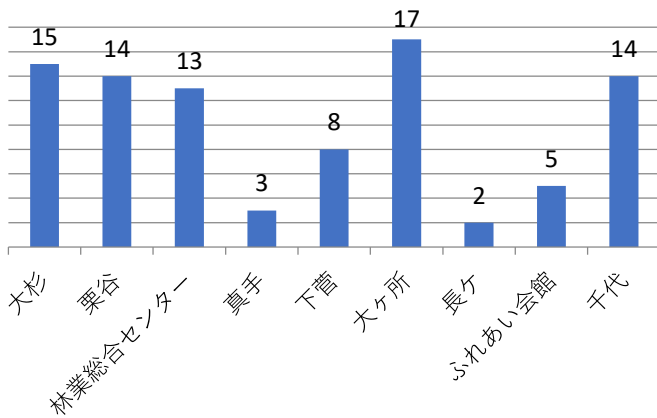
「みなさんと車座で語ろう会」として開催させていただきましたが、開催地域や参加者数、世代格差など今後の課題が多くあります。町民に身近な議会となるよう少しでもより良いものにしていきたいと思っておりますので、ご理解をお願い申し上げます。皆さまからいただきました主なご意見につきまして、とりまとめましたのでご報告させていただきます。

1. 参加者の状況について（アンケートから）

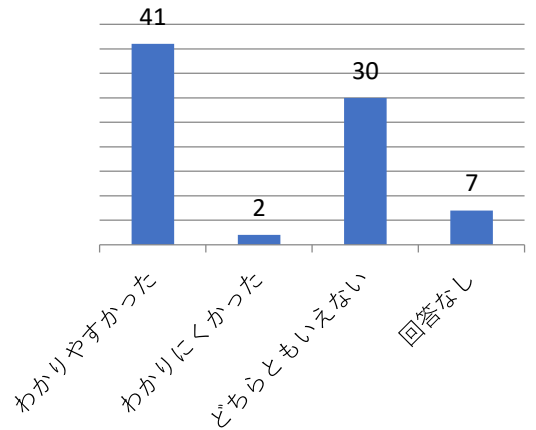
*今年度は9地区で述べ10回開催し、総参加人数は91名（アンケート回答者80名）でした。

*ふれあい会館では、13時30分と19時の2回開催しましたが、19時の参加者はありませんでした。

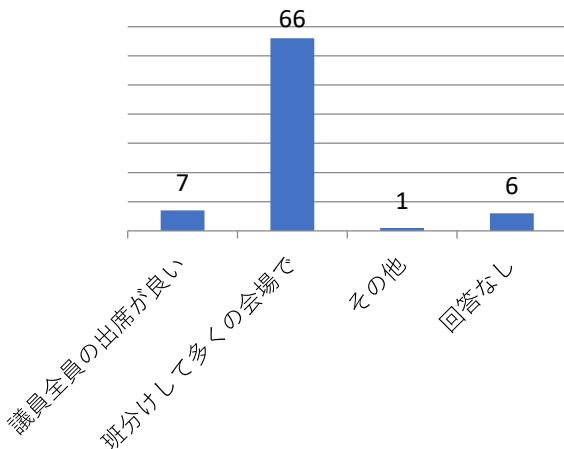
地区別参加者数



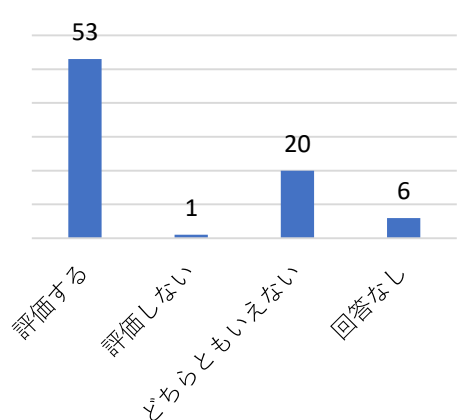
報告内容



会場の形態



全体評価



2. いただいたご意見・ご感想（アンケート自由記載欄から）

皆さまのご意見

今回の意見がどうなったかを聞きたい。議員は休会日もあるのだから、視察等のために歩くべきである。

議会の考え方

いただいたご意見は、極力、整理して公開いたします。昨年のご意見に対しても回覧やホームページで紹介し、今回、報告させていただきました。今後も同様に対応します。また、町内の実情を把握するため委員会活動を充実してまいります。

皆さまのご意見

小学校の統合よろしくをお願いします。旧大台町に1校でいいと思う。

議会の考え方

学校統合については、非常に難しいものがありますが、この先の状況を鑑みると避けては通れない課題であります。ご意見として賜りたいと思います。

皆さまのご意見

農業従事者の確保が困難であり、耕作放棄地が増えて、美しい農村風景がなくなっている。

議会の考え方

農地の保全、人材確保などについて、今回多くの意見をいただきました。所管の委員会でも「人」が主体の政策プランとして、農作業従事者の確保を執行部に提言していますので、しっかりと意見を出していきたいと思えます。

皆さまのご意見

一年に3回くらい開催してほしい。地区を変えてやってほしい。離れたところに来てもらって良かった。地域の意見を直接聞いてもらえるいい機会です。

皆さまのご意見

もっとたくさんの方に出てきていただいて、自分の意見をいってほしい。参加者が少ないと意見を言いやすい面もあるが、もう少し関心を持ってもらえるといい。若い人が少ない。もっとアピールが必要ではないか。

議会の考え方

議会としても、参加者が少ないこと、特に若い方の参加について、毎年悩んでいるところです。やり方を変えることも含めて議員間で協議したいと思えます。

議会の考え方

いろいろなところで開催させていただきました。今後の開催方法等について参考にさせていただきます。

参加者アンケートの結果では、全体評価は70%弱の方から一定の評価をいただくことができました。また、今回のように班分けをして、多くの会場で実施することができて良かったと思っておりますが、工夫を重ね、開かれた議会を目指し、議会報告会に関心を持っていただけるよう、努力してまいりますので、皆さまのご理解をお願い申し上げます。

3. 会場で出された主なご意見等

いただいたご意見	議会の意見・対応
町の指定避難所の数ヶ所は土砂災害警戒区域にある。土砂災害警戒区域に指定避難所があることについて、どう考えるのか。	指定避難所の指定については、法令や内閣府からの通知に基づき指定していますが、地形的に土砂災害警戒区域を避けることが困難な場合もあります。雨量や土壌雨量指数の観測データなどを基に安全性の確認等を行った上で避難所が開設されていますのでご理解をお願いします。
若者が町内に住みながら働くことができるように、近隣市町にある企業への町民雇用を働きかけること。また、遠方への通勤費の補助を考えては。	近隣市町等で構成する「松阪地域雇用対策協議会」や「南三重地域就労対策協議会」と連携して雇用情報を発信しています。通勤費補助等については、委員会で他市町の事例を調査します。
免許返納後や買い物時、バス停までの距離など高齢者にとっての移動手段を考えてほしい。またライドシェアはできないのか。	町は、地域公共交通計画を令和5年度に作成し、今後、地域の公共交通事業者と連携しながら取り組んでいくとのことでありますが、喫緊の課題であり、随時、議会として意見を述べていきます。町に、現行の地域公共交通に捉われず、広く検討するよう要望します。
大杉地域総合センターに隣接する場所で、集いの場や高齢者への配食で弁当を作っているが（個別施設計画で取り壊しの方向性が出されており）現在の施設を出なければならないと聞いている。施設が無くなっていく中で、厨房施設をつくってほしい。	町は、この施設を利用されているグループと協議し、今年度中に大杉谷地域総合センター内の調理室へ一部厨房機器を移設し、来年度から使用していただくこととしています。
介護保険を利用せず元気に過ごしている方への報奨制度を創設してはどうか。フレイル予防等に力を入れていくことが重要。	報奨制度について、所管の委員会で研究します。町においても研究するよう要望します。
報徳診療所の整形の休診が多い。それも前日の連絡である。	町は、派遣元と協議し、令和5年12月に代診医の派遣について、受診される方が混乱されないよう調整しました。
(さくらの里公園) 町外から訪れる方が多く、マナーが悪い。県道沿いの広場でバーベキューなどをしていることがある。土日となると地元の者が公園の利用ができない。	町は、看板の再整備を検討しています。
「えごま」を町の特産品として推奨するのであれば、作付面積や生産者が増えると良い。町の取組は。	次期作の前となる令和6年2月を目途に町ホームページや広報誌により、生産者の公募について周知されます。

つづき

いただいたご意見	議会の意見・対応
人口減少、高齢化等今後の農地の保全、多面的機能についてしっかりと取組んでいくことが重要である。	耕作放棄地の防止や多面的機能の維持を図るため、非農家の方に参画いただけるよう令和5年度から農業コミュニティ構築補助金事業が創設されていますので、この制度の活用をお願いします。農地の保全と活用については、農業振興地域のゾーニングも含め、所管の委員会で議論していきます。農地の保全、多面的な機能を維持するための施策の推進を要望します。
獣害処理の保管解体施設があればいい。また捕獲する人、解体処理する人の人材育成が必要である。	町は、解体処理施設について検討した経緯がありますが、町内の地理的状况から処理場までの距離的、時間的な課題があり断念しています。人材育成は、獣害対策として重要なことであると認識しています。所管の委員会で研究していきます。
森林作業道は簡易なもので、大雨等における土砂災害に繋がる。しっかりと管理をしてほしい。	町は、三重県作業道作設指針、大台町作業道開設基準に基づき、できる限り地形に合った耐久性のある工法で作設するよう指導しています。作設後の巡視確認の指導を徹底してもらうよう町に要望します。
太陽光施設設置者へ敷地の適正管理を要請してほしい。	事業者へ、「大台町太陽光発電施設の設置に関するガイドライン」に沿った指導を徹底するよう町に要望します。また、他の市町村の独自の取組事例等を調査するよう依頼します。
高齢等で自動車も所有しない人は、粗大ごみを片づけたり搬出、運搬することが難しいが、頼めたり助けてもらえるところはないか。	高齢者の粗大ごみ回収については、クリーン運動時に実施しています。町にクリーン運動時の回覧を徹底してもらいます。
地区の状況に応じて、柔軟なスクールバスの運行としてもらえないか。	スクールバスについては、柔軟な運行について検討するよう町に要望します。
川添小学校が2クラス複式学級となっている。新たな学校建設を待たずに、三瀬谷小学校や日進小学校の余裕のある教室に通うのも一つの方策ではないか。	学校統合については、教育委員会、保護者、地域等の協議を見守ることになりますが、生徒数が少なく、余裕のある教室に通うという新たな提案であり町に意見として伝えます。
一般質問での「検討します」答弁に対する、事後確認をしっかりとやってほしい。	議員として、その後どうなったかの確認に努めます。
(議会報告会に) 集まっている人の多くは、高齢者である。若い人の意見を聴取して、政策に反映してほしい。	議会としても参加者について、毎年苦慮している状況です。年代や課題を絞って実施することを検討していきます。